

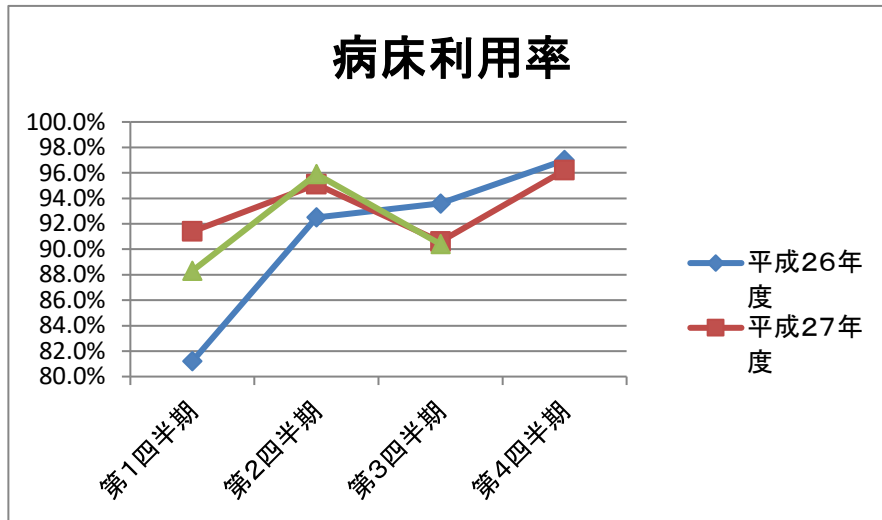
## 10. 病床利用率(障害者施設等病棟)

病床利用率は、平均在院日数とともに病院の経営管理状態を示す指標の1つです。経営管理という視点からみると、病院にはヒト、モノ、カネが投資されていて、それらがどの程度効率的に活用されているのかわかる必要があります。もう一つの視点としては、病院のスタッフが入院患者のケアにどれくらい熟練しているのかわかるための指標ともなります。病床利用率とは稼働病床数に対し、実際に入院患者がどのくらいの割合で入院していたかを示す指標です。

式) 病床利用率 =  $\frac{\text{入院患者延べ数}}{\text{延べ稼働病床数}} \times 100 (\%)$

※ 入院患者延べ数 = 在院患者延べ数 + 退院患者数(死亡数を含む)

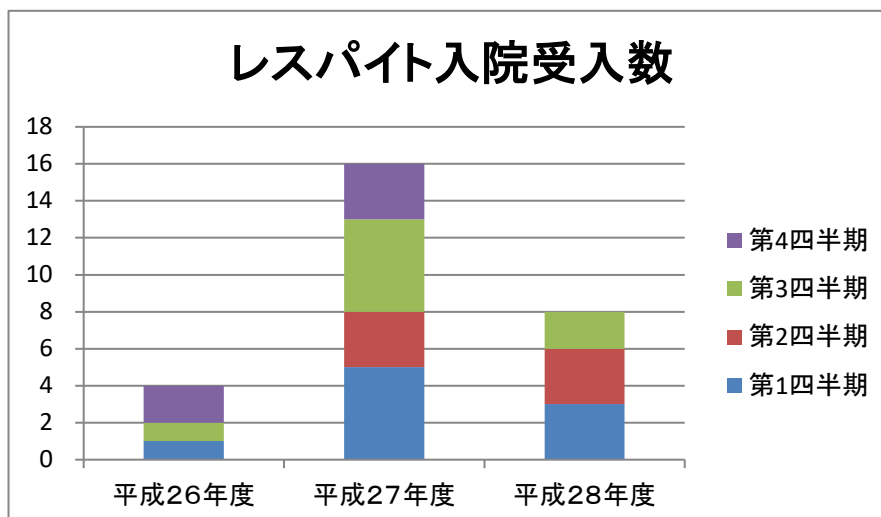
|        | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | 年間    |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 平成26年度 | 81.2% | 92.5% | 93.6% | 97.0% | 91.1% |
| 平成27年度 | 91.4% | 95.1% | 90.6% | 96.2% | 93.3% |
| 平成28年度 | 88.3% | 95.9% | 90.4% |       |       |



## 11. レスパイト入院受入数

レスパイト入院(介護休暇目的入院)の「レスパイト」とは、「一時休止」「休憩」という意味です。現在の医療状況から、神経難病の患者さんでも在宅療養の流れが進んでいます。神経難病の場合、体位変換や痰の吸引、胃瘻などの栄養管理、人工呼吸器の管理など、介護するご家族は時に介護の「休憩」が必要になることもあります。社会的入院とは違う、在宅療養を支えるための入院がレスパイト入院です。

|        | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | 年間 |
|--------|-------|-------|-------|-------|----|
| 平成26年度 | 1     | 0     | 1     | 2     | 4  |
| 平成27年度 | 5     | 3     | 5     | 3     | 16 |
| 平成28年度 | 3     | 3     | 2     |       |    |



## 12. 入院患者1日リハビリテーション平均単位数(障害者施設等病棟)

入院患者1人あたりに行う1日のリハビリテーション実施単位数の平均を示します。  
式)入院患者1日リハビリテーション平均単位数=総合単位数÷総合人数 (単位)

|        | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | 年間   |
|--------|-------|-------|-------|-------|------|
| 平成26年度 | 3.01  | 3.01  | 3.15  | 3.19  | 3.09 |
| 平成27年度 | 3.21  | 3.04  | 3.14  | 3.33  | 3.18 |
| 平成28年度 | 3.17  | 3.73  | 3.38  |       |      |

